

はなごころ



題字 瑞龍寺 起龍軒老大師

第48号

令和5年7月20日

発行：臨濟宗妙心寺派

北海道教区

源還本返

講 九 第



令和五年度花園会推進テーマ

おかげさま

迷いの中に

光を見出す

— 煩惱無尽誓願断 —

十牛図 第九講 「返本還源」

札幌市 瑞龍寺 起龍軒老大師

「念ずれば、花咲くが如し」

今は、すでに五月に入りました。自然は百花爛漫の季節になりました。

世界中の人々に様々な苦難をもたらした新型コロナウイルスもようやく終息しつつあります。お寺では古来、ダラニ経「卻瘟神呪」を毎朝読誦しております。その後半の句「ムトナンキー アギヤニキー ニ

ギヤシーキー アギヤナキー ハラニツキー アビラーキー ハーダイ

リーキー シッコーシッコー マクトククジュウ」と念誦します。疫病退散の呪詞です。

これら毎日の朝課勤行のおかげでしょうか、一日がムダなくその場で生活行動がそのまま働けるようになりました。例えば良寛禅師の歌に「災難に会えば災難に会うが良き候」に目覚めてきます。

只今は、山は青く、雲は白く、庭のツツジはウスモモに、レンギョウは黄色、ライラックは紫、シャクナゲも濃紫、紅白の梅は香り、子育てカラスはガアガア、スズメはチュンチュン、参道を掃き、雑草を一本一本引き抜き、梅樹下のコケは濃淡の緑のじゅうたん。すべてが新鮮でおのずとあり、不可思議の歓びが湧いてきます。それらのことが上の図に現わしています。

「心」になにもないもとの世界に返ったように—

—

—

「所長就任のご挨拶」

北海道教区宗務所長

鶴居村 観音寺住職

川邊 正道

昨年六月より前任、船場一謙師の後任をあとより早一年が過ぎます。

就任後もコロナ禍という事で、教区花園会活動もままならない状況でしたが、各寺院ご住職の皆様、花園会会員皆様には教区活動に御理解を頂き、誠に有難うございます。

昨今の世界情勢はコロナ禍に始まり、ロシアのウクライナ侵攻・極東有事の緊張・穀物や飼料の高騰等、あまり善い情報が有りません。こんな時こそ私たち一人一人が、お釈迦様の教えを足掛かりとし、心の安寧を願う生活を心掛ける事が大切であると考えます。

今年度は教区花園会の行事も、例年通りに開催される予定です。皆様のご協力を頂き盛り上げて参りたいと考えておりますので、何卒宜しくお願い致します。

「ご挨拶」

北海道教区宗議会議員

室蘭市 法眼寺住職

船場 一謙

教区寺院諸大徳に於かれましては、御健勝にて日々檀信徒皆様への教化布教にご精進の事お喜び申し上げます。また、ご寺庭ならびに花園会会員の皆様に日頃より花園会活動にご理解とご尽力を頂き心より厚く御礼申し上げます。昨年八月より正宗寺松浦明恭師の後を受けて宗議会議員の重責を担うこととなりました。その任に足りないことは重々承知しておりますが精一杯努力して参ります。四年間何卒宜しくお願い申し上げます。さて、重苦しい雲囲気のコロナ禍の三年が過ぎ去り、五月八日よりインフルエンザと同じ第五類に分類されます。マスクを外し以前のように自由に喜怒哀楽を声高らかに表現出来、いろいろなどころで人出に、活気に満ち溢れる事と思えます。なかにはこの三年間をいっぺんに取り戻そうとする方もおられるかと思えます。また中には今まで以上に一つ一つを丁寧にくくりと大切にして生きてゆこうと思っている人たちもおられるかと思えます。私たちの命はかぎりあるいのち、儚いのちといわれています。お腹いっぱい詰め込んだ人生より、味わい深いそして心やすらかな人生であればいいなあと改めて思っております。

「令和五年度花園会会報発行にあたり」

北海道教区花園会会長

菅田 信博

コロナウイルス感染症少し落ち着きの兆しが見えてきましたが会員の皆様くれぐれも体調に気をつけてください。コロナウイルス感染の問題から延期されていた北海道教区花園大会が開催される事になりました。

令和五年度は札幌市瑞龍寺とホテルマイステイズプレミア札幌パークを会場に開催される事になりました。

起龍軒老大師を総裁に迎え講演に講師として元花園会本部長の岩手県奥州市にお住いの宮田正勝様にお願いしている所です。

今大会は「おかげさま・迷いの中に光を見出す」をテーマに開催されます。

未だコロナウイルス感染のリスクは有りますが無事開催されることを願っています。

北海道教区臨済宗寺院、花園会会員の皆様のご健勝と花園会の隆盛を願う花園大会には大勢の皆様参加をお待ちいたしております。

シリーズ
ここ3の
時間

「道」

愛媛県大洲市 城願寺住職 五葉光鐵

冷暖自知れいたんじちという言葉は一般に使われておりませんが、元々は禅の言葉です。水の冷たさや、温かさというものは自分で経験してみないと本当には分からないという意味です。

今の時代は、スマホで調べれば何でも知識として知ることができると便利な時代となりました。机の上のみで知ることが全てを解決した、ということが多くなってきたこの頃ですが、実際には理論だけでは理解できないこともたくさんあります。

さて、私は若い頃、僧侶をしながら東京のモーターマガジン社でバイク雑誌の特約ライターとして仕事をしておりまし

た。

今から三十五年前、佐川急便がスポンサーになり、アントニオ猪木さんと半月間、中国のウルムチ（新疆ウイグル自治区）から西安までの四千キロのシルクロードをオフロードバイクで走破しようという企画をし、私はその取材でバイクと一緒に走ったことがあります。

猪木さんはバイクに乗るのが初めてでしたが、わずかに十五分ほど練習しただけで上手に乗れるようになりました。さすがはプロレスラー、運動神経は抜群だと思いました。当時、四十半ば、若くてお元気でした。猪木と言えば「猪木ビンタ」、私もビンタを張ってもらいましたが、パンというすごい音がして、見事に吹っ飛ばされました。

これは中国で聞かせてもらった猪木さんの座右の銘です。

「道」

この道を行けばどうなるものか 危ぶむな
かれ 危ぶめば道はなし 踏み出せばその
ひと足が道となり そのひと足が道となる
迷わずいけよ いけばわかるさ

これは誰の言葉か調べて見ると、元は清沢哲夫きよざわてつおという浄土真宗のお坊さんの言

葉でした。猪木さんは敬虔な仏教徒だったので、なるほどと深くうなづくことができました。

一足踏み出した歩みが道となり、その一足が道である、というところに注目できます。

この言葉から「人は頭でっかちの理論家ではなく、常に実践者であれ」という猪木さんの信念が感じられました。

猪木さんは現役のプロレスラーとしてリングで闘いながら国会議員としても活躍されました。一九九〇年には湾岸戦争直前にイラクへ単身で乗り込み、誰もし得なかった日本人の人質を解放し、全員無事に帰国させました。そうして昨年十月一日に七十九才で亡くなられましたが、最後の最後まで実践の人でした。

人生の道は誰かが道をつけてくれるわけではありません。道は自分でつけねばなりません。自分で力を尽くしてつけた道が己の頼りとなるのです。借り物の知識は参考程度に過ぎません。体験に裏打ちされた本物の智慧こそが私たちの宝であり灯火ともしひとなるのです。

私も六十才を過ぎ、体のあちこちが痛っ苦しくなってきましたが、これからも実践者でありたいと思います。

◆こんな行事をしています◆

令和五年『活動状況』

教区花園会女性部 会長 畠山 芳枝

庭の木々も、緑の濃さを増してきた様に感じられる今日この頃ですが、皆様におかれましては、恙なくお過ごしのことと存じます。

この三年、私達の生活を脅かしていた新型コロナウイルスの勢いも収まりつつある中、今年二月六日、三年振りに京都妙心寺派宗務本所にて、全国花園会女性部会長会が、開かれましたので出席して参りました。全国の各教区より十四名(内、リモートにて参加三名)の会長が出席される中、新任となられた会長四名への輪袈裟授与から始まり、昨年度の事業報告、今年度の事業計画、及び役員改選などの議案を審議し、お陰様で滞りなく終えることが出来ました。

そして、四月には札幌瑞龍寺にて北海道教区花園会合同役員会が開かれました。教区での活動は、女性部としては二年間の空白がありました。昨年より感染予防対策を行いながら徐々に再開致しております。

このたびの役員会では、コロナ禍で中止となっておりました行事なども、今年度の事業計画で予定しておりますので、会員の皆様には、今後ともご理解とご協力を頂きます様、また、教区女性部役員一同、微力ながら精一杯務めて参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

「青壮年部企画親睦会及び研修会」

教区花園会青壮年部 会長 阿部 清光

コロナが完全に終息されておらず、開催が危ぶまれていましたが、参加者の制限や懇親会、ホテルの部屋割りなど十分に配慮し、令和四年七月六日・七日に鶴居村で青壮年部企画の交流会・懇親会及び研修会を開催しました。

六日の午後一時よりパークゴルフ(参加者四十名)、スリーエイ(参加者六名)とそれぞれパークゴルフ場とお寺を借り行いました。パークゴルフ会場では、普段の力を発揮する事が出来ず苦労する方もおられていたようでした。パークを終了後に帰られる方々がおり、閉会式を初めてスリーエイを体験する方がいるにもかかわらず、白熱した試合となりました。悲願であった鶴居村での交流会が和気あいあいの中で、無事終わることができました。

六時からは、鶴居村村長も参加し懇親会を開催しました。コロナの心配もあり、自席でおとなしくしていましたが、さすがにアルコールが入るとコロナ前と変わらず、色々なところ集まり談笑となり、三年ぶりに再会した事もあり、大いに盛り上がりました。

翌日七日には椅子坐禅、鶴居村観音寺住職による法話、鶴居村消防署の方々によるAEDの講習会を行い、充実した研修会となりました。

まだまだ、コロナが落ち着いて来たわけではありませんが、次年度の開催地を二部、旭川地方で行うことを確認いたしました。詳細については、今後討議する予定であります。お互いの顔と名前を覚えてもらう方針は、間違えておらず、今後も続けて行きたいと思っております。

「就任のあいさつ」

教区寺庭婦人会会長
鶴居村 観音寺寺庭 川邊 利絵

この度、前会長・船場美保子様より任を引き継ぎ、寺庭婦人会会長を務めさせて頂くことになりました。鶴居村・観音寺寺庭の川邊利絵と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

ようやくコロナ禍も収まり始め、中止となっていた様々な行事が開催され、生活も元に戻りつつあります。各寺院の皆様もお忙しい日々を送られている事と思います。当山も少しづつ行事の予定が動き始め、檀家の皆様にお参りを頂ける機会が増えてきたことを、とても嬉しく感じております。

寺庭婦人会としては、今年度の総会・研修会を十月三・四日、札幌を会場に開催する事を新役員で相談の上決めさせて頂きました。前回に続きたくさんの方の御寺庭様にご参加いただき、何か今後のお役に立てる事を、皆様と共に学べたら幸いです。

力不足ではございますが、仏様の教えを心に精進して参りたいと思っております。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

No.9 瑞芳寺

われら産子臨濟宗寺院

寺院名

蒼龍山 瑞芳寺 二等地三級

宗派名

臨濟宗妙心寺派（東海派）

所在地

札幌市東区北四十五条東十丁目六一五

現住職

相沢龍堂

勸請開山

歴住妙心隆芳昭禪師大和尚

創建開山

前任妙心當山二世碧洞潭禪師大和尚

本尊

如意輪観音



.....

のほかに、葬儀・法事・会食などができるバリ
 アフリー対応の多目的ホール「蒼龍庵」があり、
 小さなお子さまから車いすの方にも安心して心
 地よくご利用いただけるよう配慮しています。
 そしてこの好立地を生かし、檀信徒・地域・多
 くの皆さんにお集まりいただきたいとの思いか
 ら「寺カフェSOU」を開いています。お寺と
 いう穏やかな空間で、食に感謝し美味しく楽し
 い時間を大切に住職寺院が心を込めて手料理で
 おもてなしをいたします。
 営業時間・メニュー・ご予約などはお問い合わせ
 ください。皆さまにお越しいただけましたら
 幸いに存じます。

.....

当山は札幌市
 東区地下鉄駅
 から徒歩圏内
 の住宅地に位
 置しています。
 本堂、納骨堂



臨濟宗妙心寺派 北海道教区花園大会

令和元年の開催以降しばらく延期になっていました「北海道教区花園大会」。今年ようやく開催することができます。北海道の中心、札幌 瑞龍寺にて大本山妙心寺花園会本部長 小林秀嶽師の講演。そして宿泊先のホテルマイステイズプレミア札幌パークでは本山より宮田正勝師をお迎えし「いまこそ人に還る」をテーマに記念講演を予定しています。

今年度の推進テーマは「おかげさま」迷いの中に光を見出す ほんのう む じんせいがんたん 煩惱無尽誓願断です。4年ぶりにたくさんのお花園会員が集い、このような時期だからこそ臨濟禅に触れ、実り多い大会にいたしましょう。



札幌 瑞龍寺



花園会本部長
小林 秀嶽 師

日 時 令和5年10月31日(火)～11月1日(水)
会 場 札幌 瑞龍寺 ホテルマイステイズプレミア札幌パーク
総裁代理 瑞龍寺 住職 起龍軒老大師
基調講演 《「おかげさま」迷いの中に光を見出す》
花園会本部長 小林 秀嶽 師
記念講演 《いまこそ人に還る》
宮田 正勝 師

日日是好日

— 新しい自分と出会う日

愛知西教区 耕雲院 住職 服部雅昭

待ちに待った明るい日常がようやく戻ってきました。行動制限や感染対策など、窮屈な日々を余儀なくされた三年間でした。

ふと「にちにちこれこうにち日日是好日」という禅語が頭に浮かびました。毎日がよ好い日ならば文句はありませんが、現実には好い日もあれば悪い日もあります。新型コロナにかか罹れば、高熱や全身の痛みに苦しまなければなりません。そんな日でも「ああ、好い日だなあ。」なんて思う人はいないでしょう。やはり、好い日もあれば悪い日もあるのです。

そんな日々をどのように暮らせばよいのでしょうか。私は、好い日にも悪い日にもしがみつけないことが大事だと考えています。しがみつけない生き方とは、言い換えれば常に新しい自分で生きていくことです。

人間は何事にもしがみつやすい生き物です。好いことはずっと続いて欲しいとしがみつ、悪いことはいつまでも忘れることができずにいます。

たとえば健康は好ましいことですから、いつまでも健康のままでありたいと願います。しかし誰でも年齢を重ねますし、病気もします。そしていつかは死を迎えなければなりません。それなのにしがみついてしまう。

病気への対処も同様です。病気は確かに好ましくはありません。病気をすると、弱気にもなるし、クヨクヨしてしまいます。それは仕方のないことです。でも心をその状態でとどめてしまうのも間違いです。

逆に、病気と向き合いながら充実した生き方をする人もいます。たとえば仏教詩人の坂村真民さんは四十七歳の時にこう詠うたっておられます。

やま病いが また一つの世界を ひらいてくれた 桃 咲く。

真民さんは目をわずら患いました。それが治ると今度は胃がんとすい臓がんと診断され、生死の境をさまよいました。病につぐ病、人生のどん底を味わいます。そんなある朝、何気なく外を眺めると、隣家の桃が見事に咲いているのが目に飛び込んできました。その瞬間、世界がガラリと変わったのでした。

一般的に病は“悪い出来事”です。しかし真民さんの歌から言えるのは、病によって、それまで見えなかった世界が見えてくることもある、ということです。「世界がひらく」は「新しい自分がひらく」ことを示しています。それは新しい自分と出会うことです。

日日是好日。人生には好い日もあれば悪い日もあります。どちらにしても、しがみつくことなく、「新しい自分」つまり「もっと素晴らしい自分」と出会えるならば、今日という一日は、かけがえのない大切な一日となることでしょう。

◆ こんな行事をしています ～各部の花園会活動～ ◆

「第一部今後の活動」

北海道教区第一部宗務支所長
室蘭市 護国寺住職 河野 玄秀

令和四年六月より正法寺ご住職の後任として北海道教区第一部支所長を務めております、護国寺住職河野玄秀です。

教区並びに部内の円滑な花園会活動のお手伝いをさせていただきます、以後宜しくお願い致します。

第一部では部内寺院が合同で行う行事として、夏休み少年少女宿泊研修会や、各寺院の門前の町を托鉢で回り花園会員の皆様と禅宗の行事を通じて親しく交流してきましたが、近年はその活動を停止しておりました。

新型コロナウイルス感染症の終息も見え始めた昨今、再び様々な活動を行いたいと思えます。

現在多くの部内寺院では定期的に坐禅会が開催されています。

坐禅は日々の煩惱や執着から解放され、真実の自己に出会うことを目指します。

是非ともご自身で経験していただき健康で充実した生活を送りましょう。

昨年には札幌禅センターも開設されており、求める方には日々門戸を開いています。

これからの行事で多くの皆様とお会いできる事を楽しみにしています。

「第二部内行事について」

北海道教区第二部宗務支所長
鷹栖町 田中寺住職 船橋 宣裕

第二部内の各寺行事全てを把握しているわけではありませんので自坊でのお話を…

田中寺での特別な行事はございませんが年中行事として一月の大般若から始まり二月の涅槃会、三月彼岸、四月降誕会・布教会・山開き、八月の盂蘭盆会、九月彼岸、十一月に達磨忌、十二月成道会と大変多くの寺院参拝行事を昔から続けております。

以前は二十人ほどが毎行事に参拝頂いておりましたがコロナにより半数ほどに減ってしまっており、楽しみのも一つでもあるお齋とぎが無くなっているのも原因の一端であることは間違ありません。

いよいよコロナ禍も去りそうな勢い。八月の盂蘭盆会を皮切りに、以前のようみな皆さんでワイワイしながらお齋を食べ、お参りへ向かう多くの方の姿を見せたい。だからコツコツと努力していく本年にしていきます。

「これからの展開」

北海道教区第三部宗務支所長
帯広市 大乘寺住職 豊田 応道

花園会員の皆様にはご健勝にお越しの事と存じます。突然の予期せぬパンデミックに右往左往の数年。これからは全て自己判断と言う何とも慣れぬ日々の社会現象になりました。宗門当局も伝道に難儀されましたが今年度はお蔭様で春季巡教開催の運びに私たちも安堵しております。大乘寺でも一人でも多くのご法話拝聴を願ひ降誕会・女性部月例会を兼ねて行います。世界に目を向けるとウクライナとロシアの戦火がエスカレートし無慈悲の通告を感じております。諸行無常とは申せ、内外に誠に厳しい現況です。釈尊の教え『仏の道に恥じない生活を心掛けること』・・・。三部の全体事業の一つ少年少女研修会は来年臨海地方で開催の予定です。SDGS問題等話題は豊富です。種々活動も歩々前進しております。花園会員の皆様健康な心身を保って参りましょう。何卒宜しくお願い致します。

ホッと
ひとやすみ



「咲いた花を見て喜ぶならば」

龍松寺 武久 寛海

この四月、錦地北海道教区の第三部におじゃましました。ほんとうにありがとうございます。あつかましいことに、たくさんお土産までちょうだいしてしまいました。

そのなかには、「山わさび」もありました。野菜の分類では根菜類です。根っこで思いうち、あいだみつをさんのことばがあります。

花を支える枝

枝を支える幹

幹を支える根

根は見えねんだなあ

普段見えにくい
い恩恵とい
う意味

になりましようか。

根菜類が美味しいばかりでなく、「心根」とか「性根」と言いますから、やはりなんにつけ根は大事。私を支えてくださった、親・ご先祖もまた「根」といえます。

知足のすすめ

人は日々、空気や水や日光など、生きる上で必要な環境のほとんどを与えられて生かされているといえます。さらには、多くの生き物を食事として命を維持し、四季の風光にホッとすることもしばしば。

それなのに、そのどれもがあたりまえになっ
てしまい、大いなる恩恵を忘れてしまうこと
もあります。

たとえば「お盆」や「お施餓鬼」という行事は、
そのありがたみを思いうち、うんと良い機会
です。仏教では「知足」の教えをとっても大切
にします。

石庭で有名な京都の龍安寺（本山妙心寺の
境外塔頭です）には、「知足のつくばい」と呼
ばれる手水鉢があります。茶室に入る前に手
や口をすすぐための水鉢です。かの水戸の黄
門さまの寄進と言われます。

銭形をしたそのツクバイは、水を溜める真
ん中の部分が四角くなっていて、それを漢字
の「へんや、つくり」として共有し「吾れ唯
だ足ることを知る」と読むことができるので
す。

『遺教経』には、すべての苦惱から救われる

には、知足の法を觀察せよとあります。

『足るを知る者はたとえ地に
起き伏すような

貧し

い生活で

あっても心安

らかである。しか

し、足るを知らない者

は、裕福な生活をしてい

ても満足できない。足るを

知らない者は心貧しく、足るを

知る者は裕福と同じである。』

私は、自分の身の丈にあつた生活

も、心がけしだいで随分と豊かなもの

になると思います。

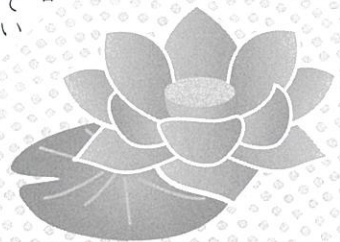
物もため たもとは涼し 夕涼み

白隠禪師

咲いた花を見て喜ぶならば、育てた根元の
恩を知れ、という教訓もあるわけです。求め
る前に既に与えられているものが実はたくさ
んある。ということに気づくことが、幸せの
きっかけになると思います。

例の「山わさび」美味しく食しました。
実は一つのワサビから三センチばかり残し
て、十号サイズの植木鉢に定植しました
よ。今ではずいぶん葉も出て、観葉植
物がわりに毎日ながめています。

さて一年後、根っこの恩恵に
あずかれますやら（笑）。



「ご挨拶」

教区寺院婦人会前会長
室蘭市 法眼寺寺院 船場 美保子

二年間未熟な会長でありましたが、役員の皆様はじめ各寺院の皆様のご指導とご理解を頂戴致しまして無事引き継ぐことが出来ました。誠にありがとうございます。

一年目はコロナ禍と言うこともあり役員会のみ活動でありましたが、四年度は苦小牧正法寺様にて総会、白老町ウポポイ研修と限られた参加人数でしたが計画どおり消化できました。ウポポイの展示内容はもとより国家プロジェクトのスケールの大きさに感動させられました。と同時に日本に仏教が伝来して千六百年余り、北海道は開拓されて二百年余り、全国各地より伝統も慣習も様々な人たちが集まり形成されたところでの布教活動がどんなにか大変であったかと想像してしまいました。

本山での教区寺院婦人会会長会では、「各寺院における寺院婦人の役割」「ウィズコロナ社会における寺院活動のあり方」というテーマで協議されました。また、二度の本山会長会に出席させて頂き各教区の寺院様との交流で貴重なお話や教えを頂きましたこと心より感謝申し上げます。

「以心伝心 ―心を以って心に伝う―」

教化主事 正法寺 中山瑞源

ある飲食店に入るとロボットが注文をした蕎麦を運んでくれました。ロンとした姿は愛嬌があり、また今の世の中の現状を踏まえたお店の配慮を感じましたが、なんだか少し寂しい気持ちにもさせられました。禅宗には「不立文字」「教外別伝」というものがあります。文字や言葉に頼らず師の心から弟子の心へと直に伝えていくことです。顔を見て、目を見て、あらゆる五感を働かせてお互いにその時の伝わりを感じていく。これは私たち人間だからできることでロボットには難しいだろうと感じます。

長いマスク生活も終わりつつあり、ようやく最近になり個人の判断に委ねられるようになりました。ここ三年間は相手の表情を読み取ることができない状況で、子供たちへの影響が大変心配です。「目は口ほどに物をいう」顔全体が見えた上での目の表情です。子ども達の長く貴重な三年間を取り戻すためにもこれから私たち大人が「和顔施」たくさん笑顔で触れ合うことが大切だろうと思います。未来の子ども達のためにも毎日たくさん笑顔で過ごしましょう。

◆ 花園会決算・ご報告 ◆

令和4年度 教区花園会会計決算報告

【収入の部】 —は予算比減 令和4年4月1日～令和5年3月31日

項 目	R4年度予算	R4年度決算	増 減	備 考
1. 繰越金収入	1,487,519	1,487,519	0	
前期繰越金	1,487,519	1,487,519	0	前年度繰越金
2. 会費収入	2,473,200	2,473,200	0	
会員割当金	2,473,200	2,473,200	0	会員数×¥400 (6,183名)
3. 助成金収入	388,080	352,360	-35,720	
教区推進助成金	0	0	0	前年度分教区推進助成金
研修会旅費補助金	353,580	127,860	-225,720	前年度の(平和復興)寺院役員研(少年少女研)等の参加に比例する
参拝推進助成金	10,000	0	-10,000	
無相教会助成金	24,500	124,500	100,000	発展拡充大会・講習会等助成金
その他助成金	0	100,000	100,000	花園会交流会助成金
4. 雑収入	201	51,626	51,425	
雑収入	201	51,626	51,425	預金利子15+交流会残金51600
合 計	4,349,000	4,364,705	15,705	

【支出の部】

項 目	R4年度予算	R4年度決算	増 減	備 考
1. 事業費	700,000	200,000	-500,000	
教区花園大会	500,000	0	-500,000	隔年開催 R5年に延期
花園会交流会	200,000	200,000	0	教区支度金として
2. 助成費	1,480,000	770,000	-710,000	
花園会本部寺院役員研修会	180,000	120,000	-60,000	曹溪寺×2名 佐々木隆雄/中田弘
花園会本部少年少女研修会	240,000	0	-240,000	引率6万+子供3万×6名分
秋期特別布教花園研修会	300,000	300,000	0	10万×各部へ 各部花園会研修会
各部少年少女研修会	50,000	0	-50,000	コロナ禍のため中止
教区無相教会助成金	250,000	250,000	0	教区無相教会本部への年間活動費
花園会女性部助成金	100,000	100,000	0	教区花園会女性部への年間活動費
その他本部研修会	360,000	0	-360,000	
3. 教化費	550,000	377,930	-172,070	
花園会報	550,000	377,930	-172,070	花園会報+会報誌原稿御礼
4. 会議費	300,000	654,480	354,480	
花園会役員会	300,000	654,480	354,480	416,480(4月)+238,000(8月)
5. 事務通信費	10,000	5,000	-5,000	
通信費	5,000	5,000	0	教化主事へ払切
事務費	5,000	0	-5,000	
6. 雑費	50,000	100	-49,900	
諸雑費	50,000	100	-49,900	
7. 予備費	259,000	0	-259,000	
予備費	259,000	0	-259,000	
8. 財政調整基金	1,000,000	0	-1,000,000	
財政調整基金	1,000,000	0	-1,000,000	
合 計	4,349,000	2,007,510	-2,341,490	

令和5年度3月31日現在 残金【収入】-【支出】=2,357,195円 | 財政調整基金 2,600,000円 | 未執行残高 2,000,000円

おくやみ

生前長らく寺門の
興隆にご活躍されま
した。

ここに教区寺院一同
よりご冥福をお祈り
申し上げます

霧多布 正宗寺 先寺庭 松浦恵子
令和四年十二月十六日 享年 九十一才ご逝去

苦小牧市 正法寺 先住職 中山玉宗
令和四年十一月二十九日 享年 八十六才ご逝去

令和5年度 教区花園会事業計画

令和5年4月1日～令和6年3月31日

年	月	日	事 業	場 所	備 考
令和5年	4	2～3	教区役員会・花園会合同役員会	瑞龍寺・ポールスター	事業報告・決算・事業計画・予算
		4～19	春季定期巡教	全道	
	7	10	全国花園会会長会	オンライン	会長・菅田信博
		19～20	北海道教区花園会交流会	2部	P G・スリー A・法話・イス坐禅
	8	22～23	教区役員会・花園会合同役員会	ポールスター札幌	事業計画・花園大会・本山団参
			無相教会発展拡充大会		御詠歌講習・奉詠
		3	平和復興の祈り	松島 瑞巖寺	
		6	2部秋季定期布教/花園研修会	洪岳寺	
		7	1部秋季定期布教/花園研修会	瑞龍寺	
		9	3部秋季定期布教/花園研修会	釧路市内ホテル	幹事・正宗寺
25		無相教会全国大会	妙心寺	御詠歌講習・奉詠	
31～11/1	北海道教区花園大会	瑞龍寺・マイステイズ	講師：①花園本部長 ②宮田正勝 師		
11	10～11	花園会寺院役員研修会	本山	各部より1名	
令和6年	1	18	花園会会長会	本山	菅田信博
		5	花園会女性部会長会	本山	畠山芳枝
	3	5	花園会青壮年部会長会	本山	阿部清光
		25～26	女性部研修大会	本山	
4	30～31	花園会少年少女研修会	本山	3部寺院より	
		教区役員会・花園会合同役員会		事業報告・計画・仮決算・予算	

臨濟宗妙心寺派

北海道教区大衆禪堂

札幌禪センター

臨濟禪を遊ぶ講演会

禪

日時

令和5年11月19日(日)

開演 15:00 (開場 14:30)

会場

札幌禪センター(瑞龍寺 本堂)

札幌市中央区南2条西21丁目1-8

入場料

無料・限定150名(事前申込制)

問い合わせ先

札幌禪センター

mail : info@sapporo-zen.org



HP <http://sapporo-zen.org>

FB <http://www.facebook.com/sapporo-zen>



■(仮題)「臨濟禪に遊ぶ」

講師

福島県福聚寺 住職 玄侑宗久 師

第125回芥川賞受賞作家

※事前予約はHPにて9月20日(水)より対応予定

※応募多数の場合は抽選となります。ご了承下さい

※発熱や体調不良の方のご入場はお断り致します

[主催] 臨濟宗妙心寺派「札幌禪センター」 [共催] 大円山 瑞龍寺・北海禪道会(本派大衆禪堂)

[後援] 臨濟宗妙心寺派教化センター・臨濟宗妙心寺派北海道教区・教区花園会・北海道臨済会

編集後記

発行にあたりお忙しい中、玉稿をお寄せいただき、誠にありがとうございました。まに心より感謝申し上げます。

ようやく以前と変わりがなく様々な行事が行われている流れを感じ、ますます仏様の教えが広がることを期待しています。仏教では懺悔することから始まります。自分がいかに至らないかを実感すること、ソクラテスの「無知の知」です。無知であるからこそ知ろうとする努力が大切であり、無知を自覚しながら知ろうとしないのはもっと罪であります。

コロナ感染症も四年目に入りました。一昨年に続き昨年亡くなられた方が戦後最大とのこと。尊い人間として生まれその命をどう生かすのか。仏様の教えにより大切な命を成就すること。仏教者として声を上げないわけにはいきません。沈黙は黙認と同じであります。

(発行人) 川邊 正道
(編集者) 中山 瑞源

船橋 宣裕
小畑 瑞穂